

HER2/FISH		P000012		
HER2/FISH		担当部署		
HER2/FISH		病理		
<b>検査オーダー</b>				
患者同意に関する要求事項		該当なし		
オーダーリング手順	1	サイボウズ→ファイル管理→54. 病理診断科→遺伝子解析依頼申請書→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		1) 10%中性緩衝ホルマリンの固定時間が 24 時間未満 48 時間以上 2) 未染スライドで 6 週間以上放置されていたもの 3) コーティング加工がされていないスライドガラス		
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00		
<b>検体採取・搬送・保存</b>				
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。		
検体採取の特別なタイミング		HER2 (IHC 法) にて 2+となった場合		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	未染スライドガラス	該当なし	3	枚
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		該当なし		
検体受入不可基準		オーダーがない。		
保管検体の保存期間		1) ホルマリンに浸かった臓器 : 2 年 2) パラフィンブロック : 半永久 3) スライドガラス : 半永久 * 保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡		

検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 病理診断科				
測定時間		10～14 日				
生物学的基準範囲		該当なし				
臨床判断値		下記ガイドラインを参照 『乳癌・胃癌 HER3 病理診断ガイドライン』				
基準値					単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		ISH 法は HER2 遺伝子 (DNA) 増幅の検出法の一つであり、FISH 法、CISH 法、SISH 法、DISH 法がある。いずれもホルマリン固定パラフィン包埋組織切片上で、標識した HER2 DNA プロブを用いて癌細胞の間期核における HER2 遺伝子のコピー数を検出する方法である。HER2 検査ガイド乳癌編第 4 版				